

# 市民ネットワーク 議会報告

市民ネットワーク北海道は、「生活者の視点で政治を変えよう」と1991年以來、市民の声の代弁者として24人の女性議員を議会へ送り出しています。地域の課題解決に向け、道政、市政にみなさんの声を反映するため全力で活動しています。

## 北海道

### 消費者が選択できるよう ゲノム編集食品の表示を



北海道議会議員  
石川さわ子  
(札幌市北区)

・環境生活委員  
・産炭地域振興・エネルギー調査特別委員  
・石狩湾新港管理組合議会議員



高GABAトマトや肥大化させた養殖真鯛などのゲノム編集食品が、国への届け出のみで既に流通しています。ゲノム編集技術は遺伝子を壊し、自然界にはない食品を作り出すものであり、脳の働きや生殖行動、免疫反応に異常が起きると専門家は危険性を指摘しています。

「北海道食の安全・安心条例」に基づき、2024年10月に開催された「食品の安全性に関するリスクコミュニケーション」では、消費者団体や生産者から「食品に遺伝子操作等の表示をし、消費者が選択できるように」と指摘がありました。道が、今年行った道民意識調査においても、遺伝子組換え食品の安全性等について、過去2回の調査結果と同様に6割以上の方が不安に思うと回答しています。

第4回定例会で、消費者の権利として道民が食品を選択することができるよう、遺伝子組換えやゲノム編集に関わる様々な情報の提供や食品表示を行うことを国に強く求めるべきと鈴木知事に質し「遺伝子組換えやゲノム編集に関する食品表示の拡充や創設などを国に求める」との答弁がありました。

## 札幌市

### 市は個人情報保護の徹底を

— 自衛隊への名簿提供に反対 —



札幌市議会議員  
米倉みな子  
(札幌市北区)

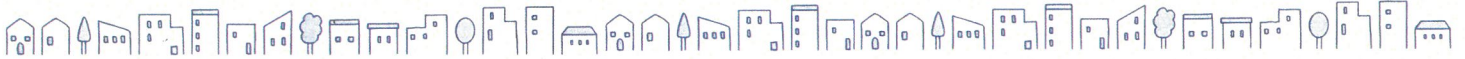
・財政市民委員  
・新しい都心空間調査特別委員



札幌市は2022年度から、その年度内に18歳と22歳になる若者の個人情報（氏名、生年月日、性別、住所）が記載された名簿を自衛隊に提供しています。自らの命を賭ける「賭命（とめい）義務」がある自衛官の募集に対し、17歳の子どもの個人情報を提供することは、札幌市が制定している「子どもの権利条例」にはそぐわないことです。

名簿提供を望まない人については、名簿から外す「除外申請」の制度がありますが、その情報に接することがなかった人や申請する機会を逃した人は、本人の意思に関わらず同意したとみなされ、名簿が提供されてしまいます。

市は今後も自衛隊から名簿提供の依頼があれば提供し、市民の理解促進に努め除外申請の周知も図るとしています。しかし、個人情報の保護は、保障されるべきです。市民一人ひとりの情報が本人の同意なくして、市を通じ提供されていくことは非常に問題であり、行うべきではありません。名簿を提供していない他の自治体の取り組みを参考にし、自衛官募集事務に係る対象者情報の提供を止めることを強く求めました。



## 北広島市

### 議会と連携した「主権者教育」を



北広島市議会議員  
鶴谷さとみ

・民生常任委員副委員長  
・議会運営委員



2024年11月、北広島市議会議員で構成する議員会の主催で「市内中学生と議員とのまちづくり対話集会」を開催しました。地域課題やまちづくりについて、若い世代に政治や議会に関心を持ってもらうことを目的とし、市内6校から生徒27名の参加がありました。

はじめに市議会のしくみや政治への参加の一つとして選挙があることなどを説明しました。北広島の魅力や改善点をテーマにしたワークショップでは、人口データや市の事業、計画などについての情報を共有し意見交換しました。生徒からは「議会への興味はなかったけど、この集会で北広島の未来を変えられる存在とわかり夢が増えた」等の感想が寄せられ、手ごたえを実感しています。

主権者意識を育む機会として、中学生との対話集会を継続するとともに、議会、行政等と連携した主権者教育の提案・推進に向けて取り組んでいきます。



北広島市議会議員  
佐々木ゆりか

・総務常任委員  
・議会広報編集委員



### 豊かな環境を次世代に残す

北広島駅から車で10分ほどの「東の里遊水地」周辺に、数年前から特別天然記念物タンチョウが飛来しています。

人間がカメラ撮影や観察などで近づき、タンチョウに悪影響を及ぼすことを懸念し、第3回定例会で対策を質問。市は、遊水地への立入り制限を告知したほか、環境省や北海道大学等と連携し、繁殖に影響を与えるアライグマを箱などで8頭捕獲したと答えました。また「東の里遊水地活用計画」にある「スポーツ施設」の整備について質すと「整備の実施にあたっては、学識経験者の意見を伺いながら、現状のタンチョウや湿地に配慮して進めたい」との答弁で、保護に向けた共通認識が確認できました。

市民も観察マナーの普及に取り組む市民団体を設立し、学習会やパトロール活動を続けています。北広島豊かな環境を次世代に残すため、今後も保護に向けた取り組みを求めています。

### 市民ネットワーク北海道とは

北海道、札幌市、北広島市に4名の議員を擁する市民の政治団体です。政治は、生活を豊かにする「道具」です。市民ネットワークの議員は、市民の声を政治の場に届ける「代理人」として、生活と政治をつなぎます。現在、7都県ネットと連携し、ともに地域から政治を変える活動をすすめています。

### 全国に広がる市民政治ネットワーク

市民ネットワーク北海道（4名） 北海道1名、札幌市1名、北広島市2名  
東京・生活者ネットワーク（40名） 埼玉県市民ネットワーク（6名） ぶくおが市民政治ネットワーク（5名）  
神奈川ネットワーク運動（7名） 茨城ネットワーク運動連絡会（6名） \*全国計（74名）  
市民ネットワーク千葉県（5名） 徳州・生活者ネットワーク（1名） （ ）内は議員数2024年12月現在

### 地域に広がるネットワーク

札幌 中央ネット・コスモス、市民ネット北、市民ネットひがし、市民ネット白石、市民ネットあつづつ、市民ネット豊平、市民ネット清田、市民ネットみなみ、札幌市西区みんなの政策ネットワーク、市民ネット手稲 北広島 市民ネットきたひろしま 石狩 市民ネットいしかり 江別 市民ネット江別

### 市民ネットは 市民の声を 政策にします



### 市民ネット3つのルール

- 議員は、交代制（ローテーション）  
2期8年を基本とし最長3期12年としています。議員を職業化、特権化せず、市民の議会参加を広げます。
- 議員の報酬は、みんなでも管理  
議員を議会活動の担当者として位置づけています。議員の報酬は市民の活動費としています。
- カンパとボランティアによる選挙  
お金のかかる選挙は利権を生むものになります。みんなでお金（カンパ）と知恵、労力（ボランティア）を出し合って選挙を行い、政治に参加する人を広げます。

